宝島のわだい

かかしが町民人口を超す勢い
宮地岳町でかかし制作

▲かかしの顔塗り作業のようす

毎年３月に開催される「宮地岳かかしまつり」に向けて準備が進んでいます。10月から月に１回集まって制作しており、12月７日には、宮地岳コミュニティセンターで顔の色塗り作業が行われました。生きがいづくりにと始めたかかし作りは、毎年50体ほど制作し今では320体を保有。自分や家族を思い浮かべながら目などを描き入れ、互いに見せ合いながら作業していました。

ラジオで情報を届けます
あまくさシティエフエム「みつばちラジオ」開局

▲放送中のスタジオのようす

888

12月３日、あまくさシティエフエム「みつばちラジオ」が開局しました。市が整備し、天草ケーブルネットワーク㈱が放送を行う公設民営のコミュニティ放送局で10人のパーソナリティが、タイムリーで旬な天草の情報を提供しています。

市民がつくる天草をもっと楽しむためのラジオです。チャンネルをFM88.8MHzに合わせて聞いてみてください。

小学生へ一足早い贈り物
天草工業高校生が読み聞かせ

◀亀川小学校での読み聞かせのようす

12月13日、天草工業高校の生徒たちが本渡地域の９つの小学校で絵本の読み聞かせを行いました。同校では１年前から保護者が生徒に読み聞かせをしており、聞く立場だった生徒が、次は読み手として活動できればと実施したもの。194人の生徒たちは、登校前に担当する小学校のクラスに行き、持参した絵本を読みました。参加した生徒は、「緊張したけど小学生が話に反応してくれて嬉しかった」と話していました。

楽しみながら歩こう
楠甫地区フットパスコースモニターツアー開催

▲周囲の風景を眺めながら歩く参加者

12月10日、有明町楠甫（くすぼ）地区でフットパスモニターツアーが行われ、44人が参加しました。フットパスとは、昔から残るありのままの風景を楽しみながら歩く小径（こみち）のことで、地区の景観を生かしたコースを作るため有明まちづくり協議会が主催したもの。

地元ガイドの説明を聞きながら5.8kmを歩いた参加者からは、「ゆっくり楽しめるいいコースでした」と好評でした。

イベントカレンダー

健ポ00…健康ポイント対象（数字はポイント数）

1(月) ●元日
須子神楽殿展示会【～3日】(須子諏訪神社内〔有明町〕)
市民シアター事業
「ドラえもんのび太の魔界大冒険」【～8日】12:20～
※3日～8日は10:20～も上映。(本渡第一映劇)

2(火)

3(水)
本渡地区成人式 11:00～(天草市民センターホール)
有明地区成人式 10:00～(有明町民センター)
倉岳地区成人式 10:00～(倉岳多目的研修集会施設)
栖本地区成人式 14:00～(栖本福祉会館)
天草地区成人式 11:00～(高浜地区コミュニティセンター)
河浦地区成人式 10:00～(一町田地区コミュニティセンター)

4(木)
御所浦地区成人式 11:00～(御所浦地区コミュニティセンター)
新和地区成人式 10:00～(新和町民センター)
五和地区成人式 10:30～(五和町コミュニティセンター)
天草と長崎の凧展【～2月4日】 9:00～17:00(天草文化交流館)

5(金)

6(土)

7(日) 第53回 新和地区駅伝大会
9:30～(小宮地新田周回コース)

8(月) ●成人の日

9(火)

10(水)

11(木)

12(金)

13(土)

倉岳えびす祭り・倉岳えびすマラソン大会 健ポ15
8:50～(倉岳大えびす像公園)

14(日) 天草市民センター自主文化事業
「あまくさ邦楽コンサート」
13:30～(天草市民センターホール)

15(月)

16(火)

17(水) 女性のための無料法律相談
10:00～12:00(市男女共同参画センターぽぽらす)

18(木)

19(金)

20(土)

天草市消防出初式 9:00～(本渡運動公園陸上競技場)

21(日) 牛深総合センター自主文化事業
「玄海竜二 一座 牛深公演」13:30～(牛深総合センター)

22(月)

23(火)

24(水)

25(木)

26(金)

27(土)

28(日) 天草マラソン大会 健ポフル・45、ハーフ・30
9:00～(天草信用金庫本店前スタート)

29(月)

30(火)

31(水)

市政だより
天草 AMAKUSA 平成30年 1月号

Contents 主な内容

2 新年のごあいさつ
5 宝島のわだい
8 「WANIMA」が天草宝島親善大使に!!
10 我がまちの消防団
13 Ama-biZ通信
14 みんなの広場
16 あまくさん／スポーツ大好きっ子
17 くらしの情報
29 市民のひろば
33 健康ごよみ
34 天草の潮汐／行政相談所を開設
35 休日在宅病・医院／水道修繕当番店
36 いきいき健康

人のうごき

11月30日現在

11月中の異動　※( )内は前月比

人口	82,642	(110減)	出生	31人
男	38,766	(36減)	死亡	137人
女	43,876	(74減)	転入	81人
世帯数	37,280	(32減)	転出	85人

問い合わせ先

本庁 天草市役所・市庁舎別館 ☎㉓1111
〒863-8631 天草市東浜町8番1号

支所 牛深☎㉝2111・有明☎㊸1111
御所浦☎㊼2111・倉岳☎㊹3111
栖本☎㊻3111・新和☎㊻2111
五和☎㉜1111・天草☎㊷1111
河浦☎㊻1111

6年ぶりの運動会
鬼池地区ミニ運動会

▶玉入れのようす

11月12日、五和町鬼池運動広場で、「鬼池地区ミニ運動会」が開催され、地区住民約90人が参加しました。人口減少により運動会の運営が困難となり、４年前からはニュースポーツ体験会を実施していた同地区。しかし、運動会を復活させたいとの思いから、同まちづくり振興会が６年ぶりに開催したもの。秋晴れの中、参加者は紅白に分かれ、輪投げや綱引きなどで競い合いました。

恐竜が町を練り歩く!?
御所浦菅原神社例大祭

▲恐竜の山車にまたがる子どもたち

11月18～20日、御所浦地区で「御所浦菅原神社例大祭」が開かれました。神事が行われたほか、獅子舞や御所浦太鼓、魚のつかみ取り、演芸なども披露され、多くの人でにぎわいました。19日には、みこし行列があり、伝統の舟みこしのほか、恐竜の山車（だし）も登場。海上安全や豊漁を祈願して、子どもたちが威勢のいい掛け声をあげながら地区内を練り歩きました。

ふるさとの良さを再発見
第19回倉岳町ふるさとまつり

▲倉岳小児童による合唱

11月26日、「第19回倉岳町ふるさとまつり」が浦体育館と浦地区コミュニティセンターで開かれ、約500人が来場しました。倉岳まちづくり協議会が地域の良さを再発見し、活力あるふるさとをつくろうと毎年行っているもの。食品バザーや絵画・手芸品などの展示のほか、ステージでは地元住民が歌や舞踊などを披露。来場者は、絵画などの作品に見入ったり、迫力ある演奏や歌を聞いたり、楽しい１日を過ごしていました。

良い炭できるかなぁ？
福連木地区炭焼き体験

◀樫の木を窯に入れる子どもたち

12月10日、天草町の福連木地区で炭焼きが行われ、地区住民や児童30人が参加しました。福連木里づくり振興会が昔ながらの山の暮らしを体験してもらおうと毎年実施しているもの。約２トンの樫の木を切って窯に入れ、火を絶やさないよう薪をくべます。その後３日間ほどで炭の完成です。炭は８kgずつ袋に詰め、地元の直売所に出荷されます。

参加した児童は、「良い炭になるといいなぁ」と話していました。

豪華なみそ汁召し上がれ！
第28回牛深あかね市

◀100杯限定の伊勢エビのみそ汁

12月２・３日、「第28回牛深あかね市」が牛深ハイヤ大橋横芝生広場を主会場に開かれ、市内外から３万人が訪れました。新鮮な魚介類や水産加工品などを販売するいきいきマーケット、野外ステージイベントなどのほか、あかねタイ釣り大会も実施され、立派な鯛を釣りあげていました。

３日には、100杯限定で伊勢エビのみそ汁も販売され、買い求める観光客で販売前から行列ができていました。

食べ物から暮らしを見つめなおす
狩猟女子講演会

▲熱心に聞く参加者

イノシシを地域づくりに生かせないかと河浦まちづくり協議会が11月26日、一町田地区コミュニティセンターで「狩猟女子講演会」を開催し、市内外から170人が参加しました。福岡県糸島市で狩猟・解体などに挑戦している畠山（はたけやま）千春さんは、「獲って解体する作業を通して“命”をいただくことを痛感する。皮まで捨てることなく使います」などと話し、参加者は熱心に聞いていました。

ウォークで健康と体力づくり
小ヶ倉かんのんウォーク

▲参拝のようす

11月26日、「小ヶ倉（こがくら）かんのんウォーク」が行われ、市内外から114人が参加しました。栖本地区振興会が健康づくりと交流人口の増加を目的に開催。コースは、同地区コミュニティセンターから倉岳山中腹にある小ヶ倉観音までの往復８kmで、同観音には、市指定文化財でもある一枚岩に刻まれた梵字（ぼんじ）があります。参加者は、「最初の上りはきつかったけど楽しめました」と話していました。

尾車親方の相撲人生とは？
第40回碇石ふるさと祭り

▲講演会のようす

12月３日、「第40回碇石（いかりいし）ふるさと祭り」が新和町碇石コミュニティセンターで開催され、地区住民の古希や米寿を祝う式典や奉納相撲、赤ちゃんの土俵入りなどが行われました。今年は40回を記念して、日本相撲協会の尾車（おぐるま）親方（元大関・琴風）を招き講演会を開催。相撲を始めた頃の話や現役時代の苦労話、相撲甚句の披露もあり、親方の美声に耳を傾けていました。